

1 学校経営計画

1 教育目標

学び いかす子 思い あらわす子 きたえ いどむ子

2 学校経営の基本理念

「児童・保護者・地域・教職員から信頼される学校をつくろう」

3 目指す児童像

- 自主的・主体的に学び、生きて働く知識・技能で、変化する社会に対応できる児童
- 豊かな心を育み、自分の思いを表現し、多様な人々と協働する児童
- 心と体を鍛え、自らの可能性を発揮し、挑戦する児童

4 目指す学校像

- ・児童が安心して通学でき、楽しく学べる学校
- ・保護者の思いに寄り添い、子どもの能力を伸ばす学校
- ・地域に貢献し、地域の教育力を活かす学校
- ・教職員の能力を活かし、協働する学校

5 目指す教職員像

- ・教育公務員としての使命感を持った教職員
- ・資質と能力の向上に努める教職員
- ・児童・保護者・地域の思いに応える教職員
- ・協働し意欲的に職務を遂行する教職員

6 学校経営の基本方針

日本国憲法及び教育基本法等の教育関係法規、学習指導要領の趣旨、栃木県教育振興基本計画2020、佐野市学校教育指導計画の方針、児童・保護者・地域の願いを踏まえた教育活動の実践により、学校教育目標の実現を目指す。

- 将来を見通した知・徳・体の調和のとれた教育課程の編成と着実な実践を通し、「生きる力」の育成に努める。
- 生命尊重・人権尊重を教育活動の基盤とし、児童一人一人を大切にされた教育活動の実践に努める。
- 教育公務員としての使命を自覚した教職員が、指導力の向上に努め、協働

して職務の遂行に努める。

○学校・家庭・地域との連携・協働により、開かれた学校、特色ある学校づくりに努める。

7 本年度の努力点

(1) 調和のとれた学校経営の推進

ア 創意工夫を生かした教育課程の編成と組織的・計画的実践

イ 教育目標の具現化に向けた学年・学級経営の工夫

ウ 児童・家庭・地域の実態に基づく特色ある教育活動の推進

エ 開かれた学校づくりの推進

オ P D C A サイクルによる教育活動の改善と充実

(2) 教職員の資質の向上

ア 学校研究課題への組織的・主体的取組

イ 適材適所の校務分掌による学校経営への参画意識の高揚

ウ 同僚性を高め、組織で対応する協働体制の構築

エ 校内研修の充実と校外研究会等への積極的な参加

(3) 健康・体力の増進と安全指導の充実

ア 新体力テスト結果分析による補強運動の継続的实施（犬伏チャレンジ）

イ オリンピック・パラリンピック教育の推進

ウ 健康管理、保健指導、食に関する指導の充実

エ 施設設備安全点検の徹底と地震・豪雨等に対応した危機管理体制の構築

オ P T A ・関係機関と連携した交通安全指導の徹底

(4) 学習指導の充実

ア 資質・能力の三つの柱を明確にした授業の研究と実践

イ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善による質の高い学びの実現

ウ 「めあて」の提示と「振り返り」の実施による「分かる授業」の展開

エ I C T 機器、実物教材等の積極的活用による児童の学ぶ意欲の高揚

オ 個に応じた学習指導の充実

カ 家庭学習の奨励と確認による学習習慣の確立

キ 三毳唐沢 S S C との連携による地域の教育力・教育資源の積極的活用

(5) 道徳教育の充実

ア すべての教育活動を通じた道徳性の育成

イ 特別の教科道徳の趣旨を踏まえた「考え、議論する道徳」の実践

ウ 一人一人の成長を認め励ます個人内評価の実施

(6) 人権教育の推進

- ア 人権尊重・生命尊重を基盤とした教育活動の実践
 - イ 児童一人一人の人権を尊重し、個に応じたきめ細かな指導の実践
 - ウ 教職員と児童、児童同士が互いに信頼し合う人間性豊かな集団の構築
 - エ ボランティア活動、自然体験活動、高齢者や障害者、幼稚園児等との交流活動などの体験による、豊かな人間性の育成と人権意識の高揚
 - オ 教職員の研修の充実と保護者に対する適切な啓発活動の実施
- (7) 児童指導の充実
- ア 全教職員による認めて伸ばす児童指導体制の確立
 - イ 「立腰」「返事・あいさつ・靴そろえ」指導による基本的な生活習慣の育成
 - ウ 自己有用感を高める小善表彰（むくろじ賞）の積極的活用
 - エ 全校合唱・今月のうたの取組による共感的人間関係の構築
 - オ 学業指導（集団づくり・授業づくり）の充実による開発的・予防的児童指導の推進
 - カ 「佐野市いじめ防止基本方針」及び「犬伏小学校いじめ防止基本方針」に基づいた指導体制の一層の充実
 - キ 「心のさのし合言葉」「宣誓 STOP THE いじめ」の効果的活用
 - ク 教育相談等の充実による問題行動の予防、早期発見・早期対応
 - ケ 佐野市教育センター等、関係機関との積極的連携による児童支援の充実
 - コ 情報モラル教育等、家庭の教育力を高める積極的保護者支援
- (8) 特別支援教育の充実
- ア 特別支援教育コーディネーターを中心にした校内体制の整備と特別支援教育に関する校内研修の推進
 - イ 通常の学級における合理的配慮と個に応じた指導の実践
 - ウ 関係機関との積極的連携による効果的な指導と二次障害の防止
 - エ 一人一人の進路や将来を見据えた適切な教育支援の充実
 - オ 「入学支援シート」「小中連携支援シート」の積極的活用による学校間連携の推進
- (9) 特別活動の充実
- ア 学校や地域の実態、児童の発達段階や特性を考慮した計画の作成と実践
 - イ 特別活動の特質と他の教育活動との関連の明確化による指導の充実
 - ウ 評価の観点の設定と児童一人一人の良さを伸ばす評価の実践
 - エ 話し合い活動に重点を置いた学級活動における自主的、実践的な活動
 - オ 児童会活動・クラブ活動における自発的、自治的活動の継続的展開
- (10) 総合的な学習の時間の充実
- ア 学校や地域の特色、児童の実態等を踏まえた全体計画の改善と充実
 - イ 各教科領域の指導内容との関連を図った指導の充実

- ウ 問題解決的な学習や自然体験・社会体験的な学習の積極的推進
- エ 地域の教育資源を活用した「佐野学」、「犬伏学」の実践
- (11) キャリア教育の充実
 - ア キャリア教育を教育活動全体で推進する全体計画の作成
 - イ 望ましい職業観・勤労観育成に向けた地域との連携と体験活動の充実
- (12) 国際教育の推進
 - ア 日本及び他国の文化を理解し尊重しようとする態度の育成
 - イ A L Tや外国の人々と触れ合いによる互いに理解し合う態度の育成
 - ウ コミュニケーション能力を重視した外国語活動の推進
- (13) 情報教育の充実
 - ア I C Tの効果的な活用や情報モラル、著作権、情報セキュリティー等に関する校内研修の充実による教員の資質、能力の向上
 - イ 佐野市教育センターや情報教育アドバイザーとの連携による I C T機器を活用したプログラミング学習の実践
 - ウ 児童の発達段階に応じた情報モラル教育の実践と保護者との効果的連携
- (14) 環境教育の充実
 - ア 教育活動全体を通じて、各教科等との関連を図りながら身につけさせた資質能力を明確にした環境教育の推進
 - イ 掲示の工夫による教育環境の整備及び美化意識の育成
 - ウ 家庭や地域社会、関係機関との連携と地域人材・施設の活用推進
- (15) 小中一貫教育の推進
 - ア 小中連携、小小連携の推進による目指す子ども像の具現化
 - イ 中学校への接続を踏まえた系統性のある学習指導と児童指導の展開